

## インテリジェント内視鏡医療エコシステム

# インテリジェント内視鏡医療エコシステム

内視鏡医療をリードするメドテックカンパニーとして、オリンパスはデジタル技術を活用することによって、患者さんやお客様のために、インテリジェント内視鏡医療エコシステムを構築し、ヘルスケアにおける4つの目的を達成していきます。

### 内視鏡医療の新時代へ

慢性疾患の増加と高齢化の進展を受け、医療現場ではより良い治療成果をより多くの人に届けると同時に、医療従事者と患者さんのエクスペリエンスを向上、さらに医療コストを抑えるという課題に直面しています。

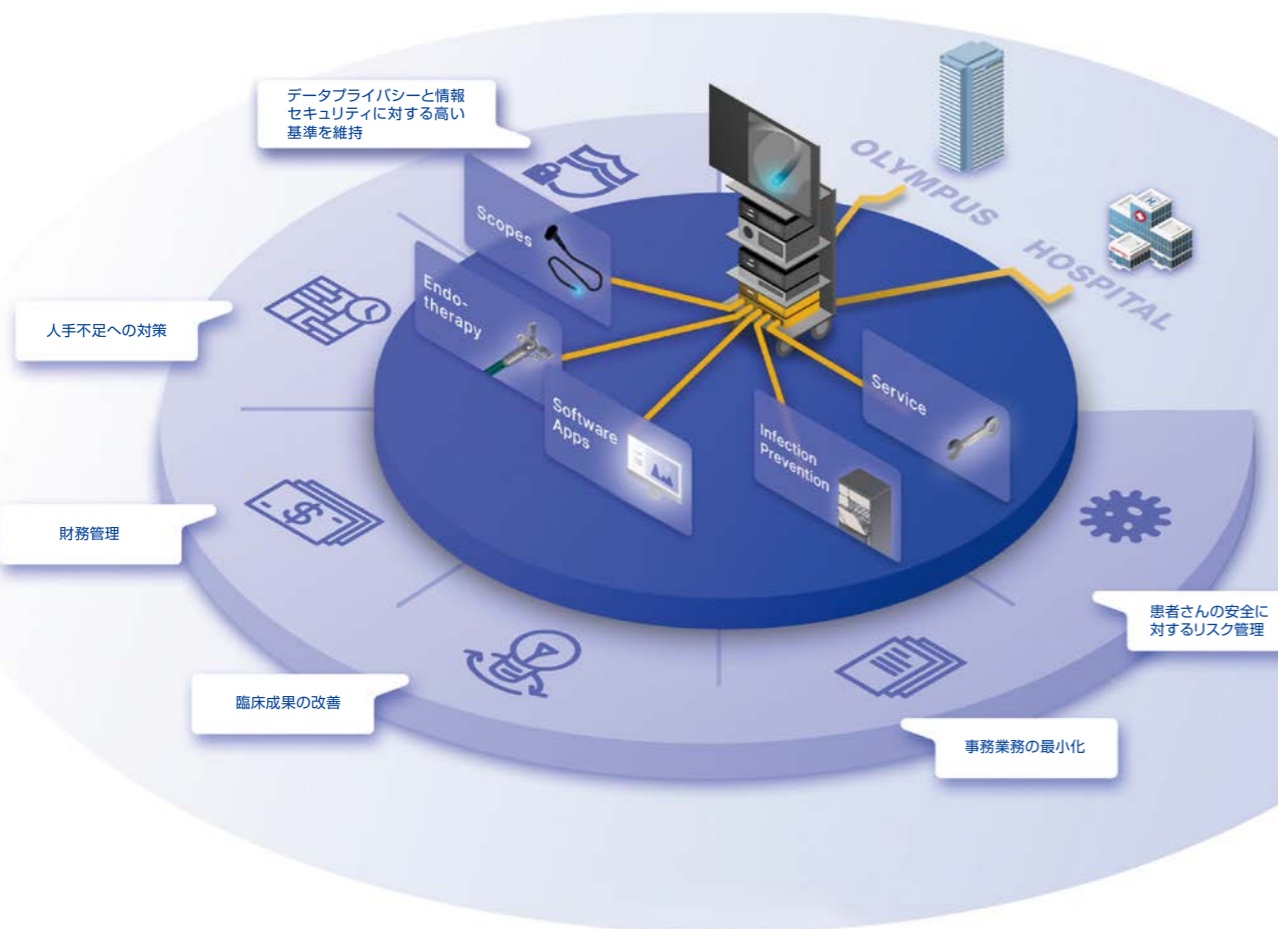
私たちは、デジタル化とオートメーションを活用したインテリジェント内視鏡医療によって、大幅な進歩が見込めると考えています。AIを活用したデータやコネクティビティにより、インテリジェントインサイト(人工知能によるサポート等)が可能となり、臨床や病院内の業務のニーズに対応できるようになります。

最先端のソフトウェアプラットフォームは、先進的なインテリ

ジェント内視鏡医療エコシステム構築の原動力となります。そして、現在および将来の臨床と病院内の業務のニーズを満たすとともに、患者さんのケアの水準を向上するため、臨床医と医療現場をサポートします。

AIを含む最新のコア技術により、一連のペイシエントジャーニーを通じて、オリンパスのお客様にとって効率的で最適な臨床成果の実現を目指し、データからのインサイトを提供します。

オリンパスのソリューションは、製品のアップグレードサイクルの長期化につながっている「物売り」のビジネスモデルから、継続的なソフトウェアの強化により「常にイノベーションを提供し続ける」ビジネスモデルへの移行を目指しています。こ



のビジネスモデルは、当社のプラットフォームのソフトウェアやアプリケーションのアップグレードによって成り立ちます。

これにより、患者さんや医療従事者もより精度の高い早期発見、診断、治療といった恩恵を得ることができます。データに基づく自動化されたワークフローソリューションにより、人的要因のリスクを軽減し、効率性を向上するとともに患者さんの安全を確保することを目指しています。また、容易で拡張性のあるトレーニングを提供し、精神的負担を軽減することにより医療従事者の維持と確保にも貢献します。

さらに、管理業務の自動化は非臨床の病院スタッフの効率も向上します。データに基づく在庫管理、設備投資の最適化、透明性のある資産管理等は、内視鏡医療に革命をもたらすソリューションの一例であり、より効率的で効果的な患者さんのケアと病院運営につながります。今後数年間で、医療におけるAIサービスが飛躍的に成長することが予想される中、オリンパスはデータを収集し、活用することで、内視鏡、スコープをは

じめとしたキャピタル製品、消化器科処置具をはじめとした消耗品、感染対策、サービスなど、内視鏡医療のあらゆる要素においてインサイトを提供できる強固なポジションを確立していきます。

現在、当社では欧州の5つの病院と共同開発を進めており、初期のソリューションに関して顧客から良好なフィードバックをいただいています。2024年末までにさらに10カ所の共創センターを開発する予定です。このテストフェーズを経て、2025年には当社のポートフォリオにこのソリューションを加え、サブスクリプションサービスとして販売を開始する予定です。私たちは、2020年代の終わりまでに全世界の病院にインストールされている消化器内視鏡システムのうち40,000台にこのソフトウェアプラットフォームをつなげて、ソリューションを提供する目標を掲げています。インテリジェント内視鏡医療エコシステムは、オリンパスの内視鏡医療の幅広いポートフォリオの可能性を高め、相乗的な価値を最大限に実現します。

### 私たちのビジョン

